

## 2025 年度 授業計画(シラバス)

|                                                                                                      |          |                 |                                            |         |               |                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------------|--------------------------------------------|---------|---------------|------------------------|
| 学 科                                                                                                  | 医療心理科    |                 | 科 目 区 分                                    | 専門分野    | 授業の方法         | 講義                     |
| 科 目 名                                                                                                | 神経・生理心理学 |                 | 必修/選択の別                                    | 必修      | 授業時数(単位数)     | 30 (2) 時間(単位)          |
| 対 象 学 年                                                                                              | 2年       |                 | 学期及び曜時間                                    | 前期 水曜2限 | 教室名           | 5校舎9階                  |
| 担 当 教 員                                                                                              | 加藤 裕史    | 実務経験と<br>その関連資格 |                                            |         |               |                        |
| 《授業科目における学習内容》                                                                                       |          |                 |                                            |         |               |                        |
| 神経・生理心理学とは、脳と心の関係に関する学問であり、基本的な脳の構造や機能について学ぶとともに、記憶、感情、学習、動機づけ、睡眠、意識など、さまざまな現象の神経学的・生理学的な作用機序について学ぶ。 |          |                 |                                            |         |               |                        |
| 《成績評価の方法と基準》                                                                                         |          |                 |                                            |         |               |                        |
| 試験素点70% 出席評価点20% 平常評価点10%                                                                            |          |                 |                                            |         |               |                        |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》                                                                                    |          |                 |                                            |         |               |                        |
| 適宜プリント配布<br>参考図書：<br>『心理学検定-基本キーワード改定版-』(日本心理学諸学会連合, 2015, 実務教育出版社)<br>『臨床神経心理学』(医歯薬出版社)             |          |                 |                                            |         |               |                        |
| 《授業外における学習方法》                                                                                        |          |                 |                                            |         |               |                        |
| 随時、授業の最初に前回授業内容に係わる確認問題を実施するので、復習しておくこと。                                                             |          |                 |                                            |         |               |                        |
| 《履修に当たっての留意点》                                                                                        |          |                 |                                            |         |               |                        |
| 神経・生理心理学は、専門用語や記憶する名称も多く、学び始めは大変かもしれませんが、1つ1つ着実に身につけていきましょう。                                         |          |                 |                                            |         |               |                        |
| 授業の方法                                                                                                |          | 内 容             |                                            |         | 使用教材          | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容  |
| 第1回                                                                                                  | 講義形式     | 授業を通じての到達目標     | 細胞膜の構造について理解でき説明できるようになる。                  |         | 配布資料<br>指定教科書 | 配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。 |
|                                                                                                      |          | 各コマにおける授業予定     | 細胞膜の構造と物流システム①                             |         |               |                        |
| 第2回                                                                                                  | 講義形式     | 授業を通じての到達目標     | 細胞膜の構造と受動輸送システム・能動輸送システムについて理解でき説明できるようになる |         | 配布資料<br>指定教科書 | 配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。 |
|                                                                                                      |          | 各コマにおける授業予定     | 細胞膜の構造と物流システム②                             |         |               |                        |
| 第3回                                                                                                  | 講義形式     | 授業を通じての到達目標     | イオンとは何かを理解し、イオンの移動について理解でき説明できるようになる       |         | 配布資料<br>指定教科書 | 配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。 |
|                                                                                                      |          | 各コマにおける授業予定     | 細胞膜の構造と物流システム③<br>イオンチャンネル・イオンポンプ          |         |               |                        |
| 第4回                                                                                                  | 講義形式     | 授業を通じての到達目標     | 静止膜電位と分極の概念について理解でき説明できるようになる              |         | 配布資料<br>指定教科書 | 配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。 |
|                                                                                                      |          | 各コマにおける授業予定     | 細胞膜の構造と情報伝達システム①<br>静止膜電位・活動電位に関する内容 i     |         |               |                        |
| 第5回                                                                                                  | 講義形式     | 授業を通じての到達目標     | 静止膜電位と分極の概念について理解でき説明できるようになる              |         | 配布資料<br>指定教科書 | 配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。 |
|                                                                                                      |          | 各コマにおける授業予定     | 細胞膜の構造と情報伝達システム②<br>静止膜電位・活動電位に関する内容 ii    |         |               |                        |

| 授業の方法 |      | 内 容         |                                                          | 使用教材          | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容  |
|-------|------|-------------|----------------------------------------------------------|---------------|------------------------|
| 第6回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経細胞とその構造について理解でき説明できるようになる①                             | 配布資料<br>指定教科書 | 配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 神経細胞とその周辺の構造について                                         |               |                        |
| 第7回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経細胞とその構造について理解でき説明できるようになる②                             | 配布資料<br>指定教科書 | 配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 神経細胞とその周辺の構造について                                         |               |                        |
| 第8回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | EPSPとIPSPについて理解でき説明できるようになる                              | 配布資料<br>指定教科書 | 配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 刺激の伝達と、伝達物質について、興奮性シナプス後電位 EPSP<br>抑制性シナプス後電位 IPSPを中心に学ぶ |               |                        |
| 第9回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 自律神経系の概要を理解でき説明できるようになる                                  | 配布資料<br>指定教科書 | 配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 神経ネットワークに関連して、自律神経系を中心に学習①                               |               |                        |
| 第10回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 自律神経系の構造・関連する伝達物質と作用の仕組みを理解し説明できるようになる                   | 配布資料<br>指定教科書 | 配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 神経ネットワークに関連して、自律神経系を中心に学習②<br>自律神経が臓器に及ぼす仕組み             |               |                        |
| 第11回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | ホメオスタシスの三角形について理解し説明できるようになる。                            | 配布資料<br>指定教科書 | 配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | ストレスによって自律神経系・内分泌系・免疫系に及ぼす影響を学習                          |               |                        |
| 第12回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 中枢神経系の解剖学的な名称とその機能を理解し説明できるようになる。①                       | 配布資料<br>指定教科書 | 配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 脳神経系の機能と解剖学的構造を学習①<br>中枢神経系の解剖学的知識を学習                    |               |                        |
| 第13回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 中枢神経系の解剖学的な名称とその機能を理解し説明できるようになる。②                       | 配布資料<br>指定教科書 | 配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 脳神経系の機能と解剖学的構造を学習②                                       |               |                        |
| 第14回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | これまでの総括として重要なポイントについて理解し説明できるようになる。                      | 配布資料<br>指定教科書 | 配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 総括学習としての振り返り                                             |               |                        |
| 第15回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | ここまでの講義で学習したことを振り返り、知識を確実なものにする                          | 配布資料<br>指定教科書 | テストに備え、これまでの復習をしておくこと  |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | ここまでの講義の復習とまとめ。                                          |               |                        |